

日中友好新聞

府連通信

2009年4月号
日本中国友好協
会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/

四月開講中国語講座始まる

シニアや主婦の受講生が増加

四月六日から大阪府連主催の第九十期中国語講座が開講されました。今期は初級から高級まで二十八クラス二百名を超える受講生が学んでいます。

この講座は中国語をはじめて学ぶ方から日常会話の完成をめ

ざす方まで、又、プライベートレッスンや割安の二科目キャンペーンで学ぶ方も増えています。

昨年の世界金融危機をきっかけに、主要先進国の経済が停滞する一方、高い成長率を維持する中国経済が、今後の世界経済を担うと目されています。

ビジネス、就職など、自身の将来と中国とを結びつけ、中国語をしっかり身につけようと、学習に力を入れる人びとの増加がうかがえます。中国への留学が増えていることも、このことを裏付けています。

また、最近の傾向として朝のクラスの受講生が増えてきてい



中国剪纸 (きりえ)

も、中国へ旅行したくと全員が役割を分担したり、中国の方とて流れるように、しかし、の友好・交流を深め、いよいよ皮つくりに入ると、めるためにも一緒に中国語を学びま



ます。シニア世代と呼ばれる会餃子講習会を、尼崎市内で二社を退職された方や、主婦の名が参加して行いました。

「生涯学習」として楽しく中国語を学んでおられます。少しずつではありますが、実際にやってつでも日々の努力で中国語が話みると、そんなことはどこ吹くせるようになる事は、とても嬉風、一心不乱にレシピを追っ

西支部 水餃子の会開く

大阪西支部は三月十五日、水

にじみ出ていました。

熱湯に入れ浮いてくれば出来上がり、口に入れて、一言、おいしい、つくったのは自分たちであるから、当然の言葉です。

アルコールも入り、なごやかに、懇談、水餃子の会は三・四年ぶりかなっていましたが、あるお母さんが、この子が二歳の時に参加して、今年十二歳になりましたという話から、もう十年実施していなかったことが分かり、これからはもう少し頻度をあげてということで満足して散会しました。(H)

総社で太極拳種目別講習会・七名が参加

岡山県総社市で、種目別講習会が 三月二十〇・二二日の二泊三日で行われ、大阪から七名、総勢106人が簡化二四式・総合四二式・三二式剣・対練に分かれて練習、肌寒い時期なのに心地よい汗を流しました。



夜の交流会で「一人で居る時は相手が居るが如く、相手が居る時は一人で居るが如く動く」と言われまさにその通り、覚える事に無了我夢中で身体が動かず、気持ちにユトリが無く反省です。(S)

練習にもまして夜の宴会は賑やかでした。府県別の余興、特に大阪西支部の恒岡・尾中組のコン棒の初披露は見応え十分、圧巻でただ驚きのみ、お見事です。

二次会も各部屋サロンで盛り上がり遅くまで交流の花を咲かせました。他府県の方々と意見交流し、次回は多くの方が参加出来たら好いのではないかと思います。実りある講習会でした。(S)

西支部 鞆公園で花見

西支部は四月五日、数年ぶりに桜満開の鞆公園でお花見を開きました。持ち寄った手料理で早速乾杯、お孫さんのダンス・扇子太極拳には花見客から注目を浴び、拍手もいただきました。

参加者は十八名でした



日中問題研究会

「社会主義市場経済のゆくえ」

世界的な金融危機のもと内需拡大で景気浮揚をめざす中国市場経済について語ります。

講師：渡辺 武(大阪府連会長)

日時：5月20日(水)18:30~20:30

会場：日中文化センター(梅田茶屋町)

参加費：500円

本部常任理事会開く

全国大会までに500人拡大を

三月十四日・十五日、東京で開催された第三回本部常任理事会には、全国から三三名の役員が出席し、諸活動のなかで会員・

活動報告では一月の「協会訪中団」で四川省を訪れた時の大地震の被災と復興状況や、東日本と中部日本支部活動者会議で討論された意見などが報告されました。

今年全国大会は東京都内で開催されます。支部組織の強化と会員拡大で、各支部からの参加をお待ちしています。

準会員500人の拡大目標をなんとし、六月の第五八回全国大会の成功につなげようとの決意を固めました。

情勢報告では世界金融危機のなかで牽引車の役割が期待されました。

関西で空白県になっている奈良、滋賀への取り組み状況も報告されました。

全国の活動から学んで支部の活動に活かしましょう。
(写真は、06年東京での大会模様)

改革開放後三〇年とこれからの一〇年

改革開放から三十年、以前は統制経済下のもと集団農業(人民公社)で生産性も低く、年貢の取り立ては厳しく、公平ではあっても労働意欲の持てる制度ではなかったために収穫が伸びず貧困層が大多数でした。

方式としてと認められ、収入も比べ物にならないほど増(平均四千元以上)えました。

しかし都市部の成長は目覚しく、農村の収入の三倍を超える勢いでこの三十年の間で格差が広がり、沿海州を中心に新たな格差が表面化してきました。

その後大阪でも万国博などの開催によって東京と同じような形態をたどり急激な都市膨張が始まり、地方と大都市間の矛盾も広がりしました。

年収すると八百元(二万円)以下が大多数で、餓死する事は珍しいことではありませんでした。しかし個人の農地使用权が認められ、働けばそれに比例して収入が増える家族請負制が導入されてから農家収入が増えた一地方の政策が評価され、一九七〇年の十一回大会・四中総で、

不況で経済発展が新たな局面を向かえることになりました。今年三月の全人代会議で新たな経済刺激策が策定されました。

中国も同じような経過をたどり矛盾をかかえながら急激な膨張をしています。これらの発展の中に複雑で矛盾に満ちた問題が山積し、様々な公害問題が表面化し、環境破壊が広がっていったのです。

中国で経済格差解消を目指すためには、農村の安定経営とインフラ整備がカギを握り、農民と労働者の生活安定が重要になります。経済のひずみを修正する絶好のチャンスでもあります。
(常任理事 松原弥寿夫)

農民工の帰郷と農村の未来

組織活動では500人拡大にむけての取り組みについて各組織から目標が出されました。

六月に東京で全国大会開催



今年全国大会は東京都内で開催されます。支部組織の強化と会員拡大で、各支部からの参加をお待ちしています。

4月開講の太極拳教室

府連教室 なんば体育館など：月曜日18：30～

西支部教室 北スポーツなど：木曜日18：30～

守口1中体育館：金曜日19：00～20：30、1・3・5火曜日

18：00～20：00 守口土居地区体育館：1・3・4・5水曜日

13：～15、守口東部教室：土曜日13：00～15：00

富田林教室 総合体育館：水曜日18：45から

東三国太極拳教室：1・2・3土曜日14：00～16：00

第90期中国語講座開講中

中国人との日常会話ができることをめざしています。

会員・学生割引あり、紹介キャンペーン図書券を贈呈

(週一回・二時間・6ヶ月20回受講)

受講料・44,000円 入学金・18,000円

二科目受講は79,000円を66,000円に割引

*授業の見学は無料で二科目までならOKです。

*プライベートレッスンも随時受付中です。